

中期目標計画 2025年度～2029年度

本校は、建学の精神と教育理念に基づき、時代のリーダーとなる学生を育成・専門分野の人材育成・自己伸長策充実・自己実現に取り組むことのできる人材を育成している。

2024年に新たな学科を編成し募集を開始した。このような教育の統合は、より現実的な学びを提供できると考える。その他学科も含め、産学連携や業界との協力を通じて実践的な教育を提供するという方針に変化はない。このアプローチは学生に対し、業界のニーズに即したスキルを身につけさせ、卒業後すぐに実務に役立つ知識や経験を持つ人材を育成することを目指す。

1. 実務経験の提供：企業と共同でプロジェクトを進める機会を設け、実際の仕事環境でどのように課題解決を行うか（現場のリアルな問題に触れる）を学べるようにする。
2. 最新技術の取り入れ：業界との連携により、最新の技術やツールを学べる機会が増え、市場におけるトレンドや技術革新に対応できるようになり、卒業時には業界で即戦力として活躍できるレベルに達する。
3. 業界リーダーとの接点：業界の専門家などとの交流する場を設けることで、業界の課題や必要とされるスキルを理解できるようにし、また、業界のニーズを正確に把握することで教育内容の改善にもつなげる。
4. 特化カリキュラムの提供：業界に特化したカリキュラムを提供し、特定の分野で即戦力となる専門知識や技術を習得させる。

このような教育モデルを実現することで、学生のキャリアアップに大きくつながるものとなり、業界に対しても優れた人材を確保するための重要なステップとなる。業界と教育機関が連携し、学生の成長を支える仕組みをつくることで、より実践的で価値のある教育を実現する。



【目的】

- ①本校教育理念に基づき、先端技術を身につけた技術者、「夢」や「希望」を持ち、「自己実現」と真剣に取り組むことのできる人材を育成する。
- ②志の高い専門職を育成し、継続的な支援を実施。社会ニーズに合った教育を実践するため、調査・分析・評価を行い教育に反映させる。
- ③多様化する技術に必要な広い視野と教養、高度な専門力を持つ技術者育成のための学びの場を構築する。

【目指す理想】

- ①教育・学生支援
 - ・専門職の育成を基軸とし、幅広い視点を持ち、社会への深い認識が育つことを目標とする。
 - ・学生は「教わる・教えてもらう」姿勢から「自ら考え、判断し、主体的に行動」できる姿勢へ。
 - ・教員は「教える」から「能力を引き出し、発展させる」教育を行う学校を目指す。
- ②社会ニーズに対応した教育を提供、次世代を担う人材、生き抜く力を持った人材育成
 - ・各々の専門教育との関連性をもって、広い人間理解を身に付ける。
 - ・キャリア意識を醸成し、夢の実現に向けた進路指導の充実を行う。
- ③社会貢献
 - ・地域が抱える問題や課題に取り組み、安全・安心な社会と人づくりに、積極的に参画していく。保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりの推進を行う。

【行動指針】

教育力向上、人材育成、社会貢献